

令和4年に皆様からお寄せいただいた寄付金  
31,950,700円(2,089件)は、  
令和5年度の次の事業に活用・充当いたしました。

寄付金の使途	寄付件数	寄付金額 (千円)	活用・充当した事業
新型コロナウイルス感染症対策	218	3,186	・情報発信強化事業 (新型コロナウイルス感染拡大防止広報啓発事業) ・検査体制強化事業 ※R4寄付金のうち21千円は、R4年度事業に活用。 R5寄付金のうち182千円は、R5年度事業に活用。
防災・減災	63	825	地区防災計画策定促進事業
若者の働く場	96	1,268	情報通信産業育成・誘致事業 (拠点運営事業)
水資源	57	883	香川用水県外水源地学習事業
健康長寿	66	939	女性のがん対策強化事業
子育て	485	7,426	第3子以降保育料等免除事業
教育	77	1,468	「さぬきっ子学力向上」事業
農林水産業	78	1,232	「さぬきの夢」新品種導入促進事業 (早期実用化事業)
産業振興	21	415	かがわスタートアップカンファレンス事業
観光	73	862	観光客の利便性・満足度向上事業
環境保全	73	1,141	森とみどりの祭典開催事業
地球温暖化対策	10	82	かがわスマートハウス促進事業
動物愛護管理	98	1,902	動物愛護センター事業費 動物愛護センター運営管理費
野生鳥獣保護	41	495	傷病鳥獣保護事業
瀬戸内国際芸術祭	33	488	瀬戸内国際芸術祭推進事業
栗林公園	30	501	栗林公園特別会計繰出金
香川丸亀国際ハーフマラソン	11	177	香川丸亀国際ハーフマラソン 大会開催事業
高校生花いけバトル	8	156	全国高校生花いけバトル開催事業
奨学金返還支援	16	180	奨学金を活用した大学生等の 地方定着促進事業繰出金
地域スポーツチーム	10	148	地域密着型スポーツ魅力向上事業
知事におまかせ	522	8,337	瀬戸大橋開通35周年記念事業

## 第3子以降保育料等免除事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
155,583千円	7,426千円

3人以上のお子さんを扶養する世帯に対して、第3子以降の保育料等を減免し、世帯の経済的負担を軽減することにより、子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されることを目的としており、

保育所、幼稚園、認定こども園及び地域型保育事業所において、保護者が支払うべき保育料等の減免を行った市町に対して、減免額の半額について助成を行いました。



### 令和5年度実績

- ①3歳以上で教育認定を受けている子どもに係る副食費
  - ②3歳以上で保育認定を受けている子どもに係る副食費
  - ③3歳未満で保育認定を受けている子どもの保育に係る保育料
- 合計2,481名分 延べ26,879ヶ月分(市町への助成額155,583千円)

香川県で次代を担う子どもたちを安心して産み、健やかに育てることができる「子育て県かがわ」を実現するため、結婚から妊娠・出産を経て、子育てまでの切れ目ない支援を総合的に推進していきます。  
引き続きご支援をお願いいたします。

## 地区防災計画策定促進事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
3,444千円	825千円

南海トラフ地震等の大規模災害に備え、地域防災力の強化を図るため、地域住民が主体となって地域における防災活動について定める、地域密着型の地区防災計画の策定を支援しました。

### 令和5年度実績

- ・ 県内の自主防災組織等が市町と連携して行う、地域の災害リスク等を把握するためのまち歩きや防災マップの作成、専門家を交えた勉強会の開催など、地区防災計画策定にむけた取組に対して支援を行うため、香川県地区防災計画策定促進事業により助成を行いました。
- ・ 香川県地区防災計画策定促進事業採択件数:14件

いただいた寄付を活用し、地域の防災力を向上させる事業を行うことができました。

引き続き防災・減災につながる事業に取り組んでまいります。また、県ではスマートフォン向け防災アプリ「香川県防災ナビ」を運用しています。ぜひダウンロードしていただき、いざという時の備えにご活用ください。



## 情報通信産業育成・誘致事業(拠点運営事業)

R5年度事業費	うち寄付金活用額
28,161千円	1,268千円



情報通信関連産業の育成・誘致の拠点「Setouchi-i-Base」の利用者のサポートを行うコーディネーターを配置し、施設利用者等からの様々な相談に対応するほか、施設利用者の増加や交流の促進に資する各種情報発信やイベント等の企画・運営等を行いました。

また、県内外の有識者や企業経営者等で構成するアドバイザーチームを組成し、Setouchi-i-Base利用者に対するメンタリングや交流を通じて課題解決を支援した。これらの取組により、本施設のコンセプトである、「人が集い、学び、交わり、共創する、オープンイノベーション拠点」の実現に向けた総合的な支援を行いました。

### 令和5年度実施状況

- ・ コーディネーターが110件のイベントを開催した結果、合計2,027人の方々がイベントに参加し、交流を深めました。(うち、オンライン参加者は1,314人)
- ・ コーディネーターが合計539件の相談対応を行うなど、利用者に寄り添った支援を行った結果、10件の起業に加え、9件の新規就業、28名のフリーランスが誕生しました。

高松駅前、高松シンボルタワーにあるオープンイノベーション拠点「Setouchi+i-Base」では、コーディネーターやアドバイザーによるご支援に加え、情報通信関連分野の人材育成講座やセミナーも行っています。ご関心がある方は、まずは、施設の見学からでもお越しいただけます。コーディネーターがお待ちしております。

## 香川用水県外水源地学習事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
4,331千円	883千円

香川用水の恩恵や水資源の重要性についての認識を深めるため、県内の小学4年生及び中学1年生が実施する、早明浦ダム又は池田ダムの見学学習に要する経費の助成事業などを実施しました。

### 令和5年度実績

平成6年度に事業を開始して以来、令和5年度までの30年間の累計で参加者は17万5千人を超え、香川用水関連施設を訪れた児童・生徒は、水の大切さや環境とのかかわりについて学習し、水資源に対する認識を深めています。

- ・ 参加学校数: 49校(早明浦ダム9校、池田ダム17校、オンライン授業23校)
- ・ 参加児童・生徒数: 2,930名

参加した児童・生徒の節水意識の醸成を図ることにとどまらず、ご家族をはじめ、広く県民の節水意識の向上にも繋がっていくものと考えています。



早明浦ダム見学の様子

## 「さぬきっ子学力向上」事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
30,380千円	1,468千円

県学習状況調査を通して、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、児童生徒の理解の程度に基づく個に応じた指導などを実施する契機としています。

### 令和5年度実施状況

・ 令和5年度も、「教科に関する調査」において、今、求められている思考力、表現力等を問う問題を重視して作問し、その状況を把握した。また、「児童生徒質問紙調査」「学校質問紙調査」を実施し、児童生徒の学習や生活、学校の取組み等の状況を把握するとともに、学力との相関についても分析しました。

### 【児童生徒質問紙調査】

学習や生活の諸側面等に関する調査を質問紙の形式で実施

### 【学校質問紙調査】

学校の取組みや児童生徒の状況等に関する調査を質問紙の形式で実施



- ・ 質問紙調査の結果から、「学習意欲」「言語活動」等について、各学校の取組みを見直し、検証改善サイクルの確立に努めました。

児童生徒の学習や生活の状況及び学校の取組状況を把握することができ、特に授業における話し合いの質を向上させる必要があることが見えてきました。

今後とも、香川の子どもたちの学力向上に向けた取組みにご理解・ご支援いただきますようお願い申し上げます。

## 女性のがん対策強化事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
3,355千円	939千円

がん検診の受診率向上のため、休日に乳がん検診・子宮頸がん検診を実施する「かがわマンモグラフィサンデー」など、がん検診を受診しやすい環境づくりに取り組みました。

### かがわマンモグラフィサンデー

乳がん月間である10月の休日に、県内の医療機関(※)の協力を得て、広域的に乳がん検診・子宮頸がん検診を実施しました。

※個別検診: 28医療機関、集団検診(検診車): 県総合健診協会

### 令和5年度実施状況

- ・ 乳がん検診受診者数 373名(個別検診265名、集団検診108名)
- ・ 子宮頸がん検診受診者数 196名(個別検診76名、集団検診120名)

がんは、生活習慣の改善による予防や、検診による早期発見・早期治療が重要です。定期的ながん検診を受診しましょう。



## 動物愛護センター事業費

R5年度事業費	うち寄付金活用額
9,767千円	1,902千円

香川県は、他県に比べ犬の収容数が多く、その結果、殺処分数が多い状況にあります。

このような状況を改善するため、平成31年3月に県と高松市が共同で開所した「さぬき動物愛護センター しっぽの森」を拠点として、ボランティアなどと協力し、動物愛護管理の普及啓発や犬猫の適正な譲渡に取り組んでいます。

### 令和5年度実施状況

譲渡した犬猫の不妊去勢手術費用の助成や、犬猫の適正な譲渡に協力していただいている譲渡ボランティアによる譲渡会の開催等による活動の支援などを行っています。ボランティアの方々協力もあり、令和5年度については、犬 582頭、猫238匹を大切に飼っていただけた方のもとへ譲渡することができました。



皆さまをはじめ多くの方に、動物愛護管理について関心を持っていただくことが、犬猫の殺処分を減少させ、人と動物との調和のとれた社会の実現への第一歩だと思います。引き続き、応援をお願いいたします。

## 「さぬきの夢」新品種導入促進事業 (早期実用化事業)

R5年度事業費	うち寄付金活用額
3,498千円	1,232千円



県オリジナル小麦「さぬきの夢2009」の後継新品種「さぬきの夢2023」について、大規模に試作した収穫物を用いて、製粉事業者及び製麺事業者による製粉・製麺性等の評価と、消費者による食味評価を行い、早期実用化を進めました。



### 令和5年度実施状況

#### 1) 製粉評価

新品種「さぬきの夢2023」の品質評価を行うため、工場製粉と製粉評価会を実施し、製粉方法や品質を分析しました。

#### 2) うどんなどの試作評価

「さぬきの夢2023」を用いて、うどんをはじめ、素麺などの試作評価を行い、作業性や品質を評価し改良点を把握しました。(試作評価会3回、サンプル提供60事業者)

#### 3) 消費者によるうどんの食味評価

消費者向けに、「さぬきの夢」新品種100%で作ったうどんの大試食会(2000人対象)などで食味アンケートを実施し、コシ、味など高評価を得ました。

新品種「さぬきの夢2023」の応援をありがとうございます。令和6年度も、11月に「さぬきの夢2023」大試食会と、「さぬきの夢応援店」で「さぬきの夢2023」うどんを召し上げられるキャンペーンを開催予定です。引き続き、ご支援よろしくお願いたします。

## かがわスタートアップカンファレンス事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
6,039千円	415千円

金融機関やベンチャーキャピタルをはじめ、本県のスタートアップ支援に携わる関係機関で構成する「かがわスタートアップカンファレンス」において、本県独自のスタートアップ支援のあり方を検討しています。

### 令和5年度実施状況

- ・ 5月に初開催し、その後9月、3月と計3回開催しました。
- ・ 7月、8月に200以上の事業者に対してアンケートを実施し、創業時や現在の課題点、地方において必要となる起業家・スタートアップ支援施策で重要と考えるものについて調査しました。
- ・ アンケート結果を基に9月のカンファレンスで議論し、起業家、スタートアップ企業、支援者等関係者が繋がるコミュニティの有無がポイントとの意見で一致し、令和6年度は県がコミュニティ形成のきっかけを作るため「かがわスタートアップフェスタ」を開催する運びとなりました。

香川県から県経済を牽引するようなスタートアップ企業を生み出すための効果的な施策展開ができるよう、今後とも応援のほどよろしくお願いたします。



## 森とみどりの祭典開催事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
5,330千円	1,141千円

県民総参加のみどりづくりをより一層推進するため、みどりづくりから林業・木材の利用までの総合的な普及啓発イベントを開催し、「みどり」とともに暮らす社会の実現を目指しています。

令和5年10月8日に香川県満濃池森林公園で普及啓発イベント「森とみどりの祭典」を開催し、森林ボランティア団体等と協力して、県内の小学生(緑の少年団を含む)を対象に、緑の少年団活動報告や育樹体験、丸太切り体験などの、木や自然とふれあう体験をしていただくことができました。(来場者数56人)

多くの方に森づくり活動の楽しさや、やりがいを感じてもらうとともに、森林の大切さを学び、豊かな自然を満喫していただき、県民参加のみどりづくりの意識を高めることができました。



## 傷病鳥獣保護事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
6,788千円	495千円

公測森林公園内に整備した「香川県野生鳥獣保護センター」を中核拠点として、県獣医師会等と連携し、傷ついたり、弱ったりした野生の鳥獣を保護し、野生に復帰できるように、治療やリハビリ等を行っています。

令和5年度においては、ツバメ等の鳥類を43羽、タヌキ等の獣類を14頭、計57個体の傷病鳥獣の保護受付をしました。県獣医師会による診療を14回行うなど、香川県野生鳥獣保護センターの専門職員等の治療やリハビリにより、鳥類15羽、獣類4頭を野生復帰させることができました。国内希少野生動植物種に指定されているハヤブサやコウノトリも保護し、野生復帰させております。また、令和5年度末時点で、傷病鳥獣12個体に野生復帰に向けたリハビリ等を行っています。



自然の中に生きている野生鳥獣の保護やそれを取りまく自然環境の保全を通して、香川県の生物多様性の豊かさを将来に伝えていくため、引き続きご協力をお願いいたします。

## 瀬戸内国際芸術祭推進事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
37,057千円	488千円

瀬戸内国際芸術祭は、「海の復権」をテーマに掲げ、過疎高齢化など様々な社会問題を抱える瀬戸内の島々に活力を取り戻す取組みとして、2010年から3年に一度開催している現代アートの祭典です。

アートを道標に、船で島を巡りながら、瀬戸内の多島美や島民との触れあいなどを通じて、地域の歴史や文化を感じることができる芸術祭となっています。



女木島名画座上映会

令和5年度実施状況

令和7年4月18日開幕の「瀬戸内国際芸術祭2025」に向け、皆様に瀬戸内の世界とアートを存分に楽しんでいただけるよう、着実に準備を進めました。

また、年間を通して、過去の芸術祭アート作品の継続公開や各種イベントの開催を行っており、地域におけるアート活動を「ART SETOUCHI」と称して、現代アートによる地域活性化や文化芸術の拠点形成を目指すとともに、芸術祭開幕に向けた地域の機運を高めていきました。

6回目となる「瀬戸内国際芸術祭2025」では、これまでより会場が広がり、瀬戸内の島々と沿岸部・全17エリアを舞台として、春・夏・秋の3会期、計107日間での開催が予定されていますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

## 栗林公園特別会計繰出金

R5年度事業費	100,788千円	うち寄付金活用額	501千円
---------	-----------	----------	-------

栗林公園内に手入れを必要とする松が約1,000本、その他バベの生け垣をはじめとする常緑広葉樹が約8,800本あり、1年から2年を掛けて職人の手で計画的に行っています。

剪定の様子



## 観光客の利便性・満足度向上事業

R5年度事業費	4,496千円	うち寄付金活用額	862千円
---------	---------	----------	-------



国内外から本県を訪れる観光客の方に、「香川に来てよかった」「また香川を訪れたい」と思ってもらえるよう、スタンプラリー企画や観光施設のクーポンなどを掲載した公式観光パスポート「うどん県おもてなしパスポート」を発行しました。

令和5年度発行部数 53,000部

今後も観光客の満足度と利便性の向上に努め、香川県の観光振興に取り組んでまいりますので、引き続き応援をよろしくお願い申し上げます。

## 香川丸亀国際ハーフマラソン大会開催事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
12,500千円	177千円

令和6年2月3日・4日に、実績ある7名の海外選手と48名の国内有力選手を招待し、また、大会ゲストに金哲彦さんと有森裕子さんを迎えて開催しました。

4日のハーフマラソンには7,662名が出走し、3日の3km部門と小学生駅伝を合わせた出走者数は、8,005人(申込総数9,250人)となりました。全国47都道府県から参加があり、海外からも多くの参加がありました。

競技場や沿道では、約85,000人の観客から声援が送られ、女子のハーフマラソンでは大会記録が1分以上更新されました。トップランナーのハイレベルな走りを間近で観戦することで、県民に大きな感動と興奮を与えてくれました。



競技場横の広場では、グッズ等のチャリティーオークションや飲食ブースなども設置しており、ランナーだけでなく応援の方々にも楽しんでいただけるよう取り組んでいます。

今後も本県のスポーツ振興やにぎわいづくりのために、応援よろしく申し上げます。

## 地域密着型スポーツ魅力向上事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
29,917千円	148千円

一人でも多くの方に試合会場に足を運んでもらえるよう、会場全体のエンターテインメント性を高める様々なイベントを開催し、試合観戦の機運醸成に向けた魅力づくりと情報発信を実施しました。

また、アウェイ(ビジター)から来場するファン・サポーター等に対し、香川県のPRを行いました。



香川県を拠点に活動する地域密着型スポーツチームは、様々な地域貢献活動に取り組むほか、地域活力向上や交流人口拡大にも貢献しており、県ではこれらのチームを地域の財産と捉え、活用と支援に取り組んでいます。

これからもスポーツチームへの応援をよろしく申し上げます。



# 瀬戸大橋開通35周年記念事業

## R5年度事業費

22,780千円

## うち寄付金活用額

8,337千円

令和5年は瀬戸大橋が開通35周年を迎える節目の年でした。瀬戸大橋が本県の交流人口の拡大や地域経済を支える基幹的な交通基盤であることを改めて認識いただくよい機会であり、瀬戸大橋の利用促進や交流人口の拡大につなげるため、瀬戸大橋開通35周年記念事業を実施しました。

### 令和5年度実施状況

5月21日に開催の本州四国連絡高速道路株式会社のイベント、「せとうち島旅フェス2023」に香川県も共催し、丸亀うちわの制作体験ブースを出展したほか共催事業として瀬戸大橋スタンプラリーを実施し、3,000件以上ご応募いただきました。

8月11日に地元坂出市が開催した「さかいで大橋まつり」と連携して四国最大級となる15,000発の花火大会を実施し、県内外から10万人にお越しいただきました。

瀬戸大橋開通35周年記念事業に多くのご支援をいただきありがとうございました。引き続き、関係機関と連携し、瀬戸大橋のより一層の利用促進に取り組んでまいります。



## かがわスマートハウス促進事業

### R5年度事業費

164,567千円

### うち寄付金活用額

82千円

2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けて、県内でポテンシャルの高い太陽光エネルギーを最大限活用することができる太陽光発電設備や、停電時の備えとなる蓄電池、高効率設備や再生可能エネルギー等を導入することで年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指したZEH等の導入を促進しています。

### 令和5年度実施状況

太陽光発電設備、ZEH、蓄電池、V2Hを設置する場合に、その経費の一部を補助しました。

- ・太陽光発電設備  
214件 10,547千円
- ・ZEH 439件 106,450千円
- ・蓄電池 444件 43,410千円
- ・V2H 24件 2,400千円



住宅の屋根に設置された太陽光パネル



住宅に設置された蓄電池

今後も「香川県地域脱炭素ロードマップ」に沿って、家庭の脱炭素化をさらに進めるため、住宅の省エネ化や省エネ機器などの導入促進に取り組んでまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いたします。

## 全国高校生花いけバトル開催事業

### R5年度事業費

7,105千円

### うち寄付金活用額

156千円

花きの需要が減少傾向にあり、中でも若年層の消費が少ない中、「全国高校生花いけバトル」を起爆剤として、若い世代を中心に花きへの関心を高めて新たな需要を創出し、花きの需要拡大と花き文化の振興、さらに花きの生産振興を図ります。

### 「第七回全国高校生花いけバトル全国大会」

- 1 日程 令和6年2月4日(日) 9時30分～16時30分
- 2 場所 レクザムホール(香川県県民ホール)大ホール
- 3 出場チーム 地区大会代表 11チーム(22名)
- 4 大会結果  
優勝 香川県立飯山高等学校  
チーム「飯山 花笑み」
- 5 来場者 700名



「全国高校生花いけバトル」への応援ありがとうございました。第八回大会は令和7年2月2日に高松市で開催予定です。引き続きの御支援、お願いいたします。

## 奨学金を活用した大学生等の 地方定着促進事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
5,000千円	180千円



意欲や能力が高いにもかかわらず、経済的な理由で大学等へ進学することが困難な方で、卒業後は県内に就職・定着し、かつ地域の中核的企業等を担う人材と成り得る方を支援するために、卒業後の県内での定住、就業等の条件を満たした場合、第一種奨学金返還時にその返還額の一部を支援しています。

平成28年進学及び進級予定者を対象に本制度を実施し始めてから、令和6年進学及び進級予定者までで425名を認定しました。

今後も本制度の活用を通じて若者の地元定着、県内企業の人材確保に努めてまいりますので、皆様方のより一層のお力添えをお願い申し上げます。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止 広報啓発事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
2,118千円	2,118千円

県民の皆さまに向けて、新聞広告やホームページにより、新型コロナウイルス感染症の感染防止につながる広報を切れ目なく実施できました。

## 検査体制強化事業

R5年度事業費	うち寄付金活用額
12,423千円	1,068千円

感染症発生ピーク時やクラスター複数発生時に備え、高圧蒸気滅菌装置等、検査に必要な機器の修繕などを実施することで、検査分析を迅速に行える体制を構築することができ、新型コロナウイルス感染症の感染防止に繋げることができました。ご協力いただきありがとうございました。